

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 19 日

熊 本 県 知 事 殿

提出者
住所 熊本県菊池郡大津町大字大津 1 2 3 3

氏名 大津町長 金田 英樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 096-293-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

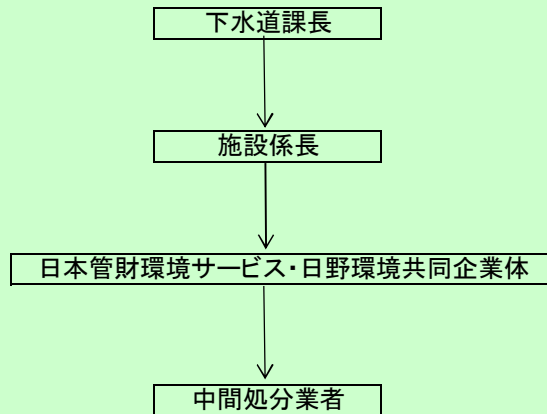
事業場の名称	大津町浄化センター
事業場の所在地	熊本県菊池郡大津町大字陣内 1 5 2 3
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	下水道事業
②事業の規模	現処理能力13,600m ³ /日
③従業員数	19名（うちメンテナンス12名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>沈砂池 → ホッパー → 搬出</div> <div>(しさ) (しさ・脱水汚泥) (しさ・脱水汚泥)</div> <div>濃縮 → 消化 → 汚泥搬出</div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	排出量	1,785.64 t							
	産業廃棄物の種類								
	排出量								
	（これまでに実施した取組）								
ポリテツ等の注入による脱水汚泥の含水率を低下させ、発生汚泥の削減を図っている。									
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	排出量	1,847.00 t							
	産業廃棄物の種類								
	排出量								
	（今後実施する予定の計画）								
ポリテツ等の注入による脱水汚泥の含水率を低下させ、発生汚泥の削減を図る。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減重した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減重した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減重する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減重する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現 状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	全処理委託量	1,785.64	t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量	1,785.64	t		t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行業者への処理委託		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t
認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行業者への処理委託		t		t		t		t	
(これまでに実施した取組)									

【目標】									
① 計画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	全処理委託量	1,847.00 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,847.00 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)								
	セメント原料及びコンポスト肥料として有効利用								
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 面 について

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	大津町長 金田 英樹	提出者の住所	熊本県菊池郡大津町大字大津 1 2 3 3
事業場の名称	大津町浄化センター	事業場の所在地	熊本県菊池郡大津町大字陣内 1 5 2 3
内容年度	令和 7 年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
下水道汚泥	現状	1,785.64	0.00	0.00	0.00	0.00	1,785.64	0.00	1,785.64	0.00	0.00
	計画	1,847.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,847.00	0.00	1,847.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合 計	現状	1,785.64	0.00	0.00	0.00	0.00	1,785.64	0.00	1,785.64	0.00	0.00
	計画	1,847.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,847.00	0.00	1,847.00	0.00	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 下水道汚泥)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 1,785.64 t

自ら直接
再生利用した量

② t

自ら直接埋立処分
又は海洋投入処分した量

③ t

自ら中間処理
した量

④ t

④のうち熱回収
を行った量

⑤ t

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ t

自ら中間処理により
減量した量

⑦ t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 1,785.64 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 1,785.64 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外への
処理委託量

⑭ t

項目	実績値
①排出量	1,785.64 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1,785.64 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,785.64 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

1. 大津町浄化センターの概要

住 所 熊本県菊池郡大津町大字陣内1523

処理方式 標準活性汚泥法

全体計画
処理能力 19,300m³/日

現在処理
能力 13,600m³/日

2. 汚水中継ポンプ場

ポンプ場名

1) 室汚水中継ポンプ場

住 所 大津町室字東迫尻

全体計画処理能力 2.00m³/分×3台

現在処理能力 1.62m³/分×3台

2) 引水汚水中継ポンプ場

住 所 大津町引水字東鶴

全体計画処理能力 1.17m³/分×3台

現在処理能力 0.99m³/分×3台

3. 処理施設の敷地内の主要な施設

P2～P4参照

4. 事業計画概要

P5、P6参照

5. 処理場の一般平面図

P7参照

6. 汚水処理のフローシート

P8参照

7. 廃棄物の処理フロー図

P9参照

8. 連絡先

大津町役場 都市整備部 下水道課

電話番号 096-293-5679 担当 大久保

9. 計画期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(第5表－1)

処 理 施 設 調 書								
終 末 処理場等 の 名 称	位 置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計 画 放 水 画 流 質	処 理 方 法	処 理 能 力		計 画 処 理 人 口	摘 要
					晴天日 最 大 (立方メートル)	雨天日 最 大 (立方メートル)		
大 津 町 浄 化 センター	大津町 大字陣内 字年の神 及び 字原口	4.32	BOD 10mg/リットル	標準活性 汚泥法 +急速ろ過	18,000 19,300	—	人 30,540 32,600	計画下水量(日最大) 15,900 17,300 m ³ /日 全体計画処理能力 18,000 19,300m ³ /日 流入水質 200 BOD…190mg/リットル S S…140mg/リットル

(第5表－2)

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘要
大 津 町 浄 化 センター	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート造	流 量 約 0.40m ³ /秒	
	沈 砂 池	2 池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	2/2
	ポ ン プ 設 備	2 台	水中汚水ポンプ	揚 水 量 0.5m ³ /分・台	2/2
	汚 水 調 整 池	6 池	鉄筋コンクリート造	容 量 約 2,025m ³	6/8
	最 初 沈 殿 池	2 3 池	鉄筋コンクリート造 方形水平流型	水面積負荷 約 50m ³ /m ² ・日	2/2 3/3
	反 応 タ ン ク	3 4 池	鉄筋コンクリート造	H R T 約 8 時間	3/3 4/4
	ブ ロ ワ ー 設 備	5 台		風 量 12m ³ /分・台×2 台 13m ³ /分・台×3 台	5/5
	最 終 沈 殿 池	3 4 池	鉄筋コンクリート造 長方形水平流型	水面積負荷 約 25 約 23m ³ /m ² ・日	3/3 4/4
	消 毒 タ ン ク	2 池	鉄筋コンクリート造	接触時間 約 15 分	2/2
	ろ 過 設 備	3 池		ろ過速度 約 1,000m/日	3/3
	放 流 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート造	流 量 約 0.40m ³ /秒	
	汚 泥 濃 縮 タ ン ク	1 槽	鉄筋コンクリート造 重力式	固形物負荷 60 kg/m ² ・日	1/1
	汚 泥 濃 縮 機	2 台	機械式	処理能力 10 m ³ /時・台	2/2
	汚 泥 消 化 タ ン ク	2 3 槽	鉄筋コンクリート造 加温式	消化日数 30 日	2/2 3/3
	ガ ス タ ン ク	2 基		容 量 約 400m ³ /基 約 200m ³ /基	2/2
	消化ガス発電設備	2 台	マイクロガスエンジン	発電出力 25kW	
	脱 水 機	3 基	ベルトプレス型	ろ過速度 約 90kgDS/m・時	3/3
			スクリーンプレス型	約 129kg/h	
	管 理 本 館	1 棟	鉄筋コンクリート造	事務室、会議室、水質試験室、 電気室、管理制御室	1/1
	ボ イ ラ ー 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	ボイラー室	1/1
	汚 泥 処 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	脱水機室、汚泥貯留槽、汚泥供 給ポンプ室、薬品室、電気室、 ホッパ室	1/1
	沈 砂 池 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	沈砂池、沈砂池上屋、発電機 室、換気ファン室	1/1
	水 処 理 覆 蓋	1 棟	鉄筋コンクリート造	最初沈殿池、反応タンク、	1/1
	受 変 電 設 備	1 式		受電容量 約 900 KVA	
	自 家 発 電 設 備	1 台		発電容量 約 200 KVA	1/1

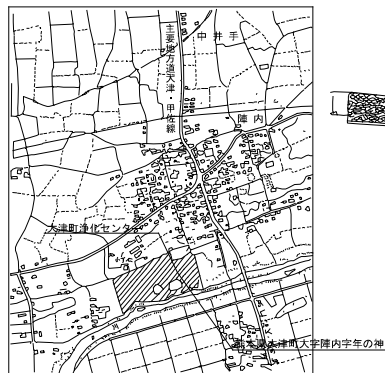
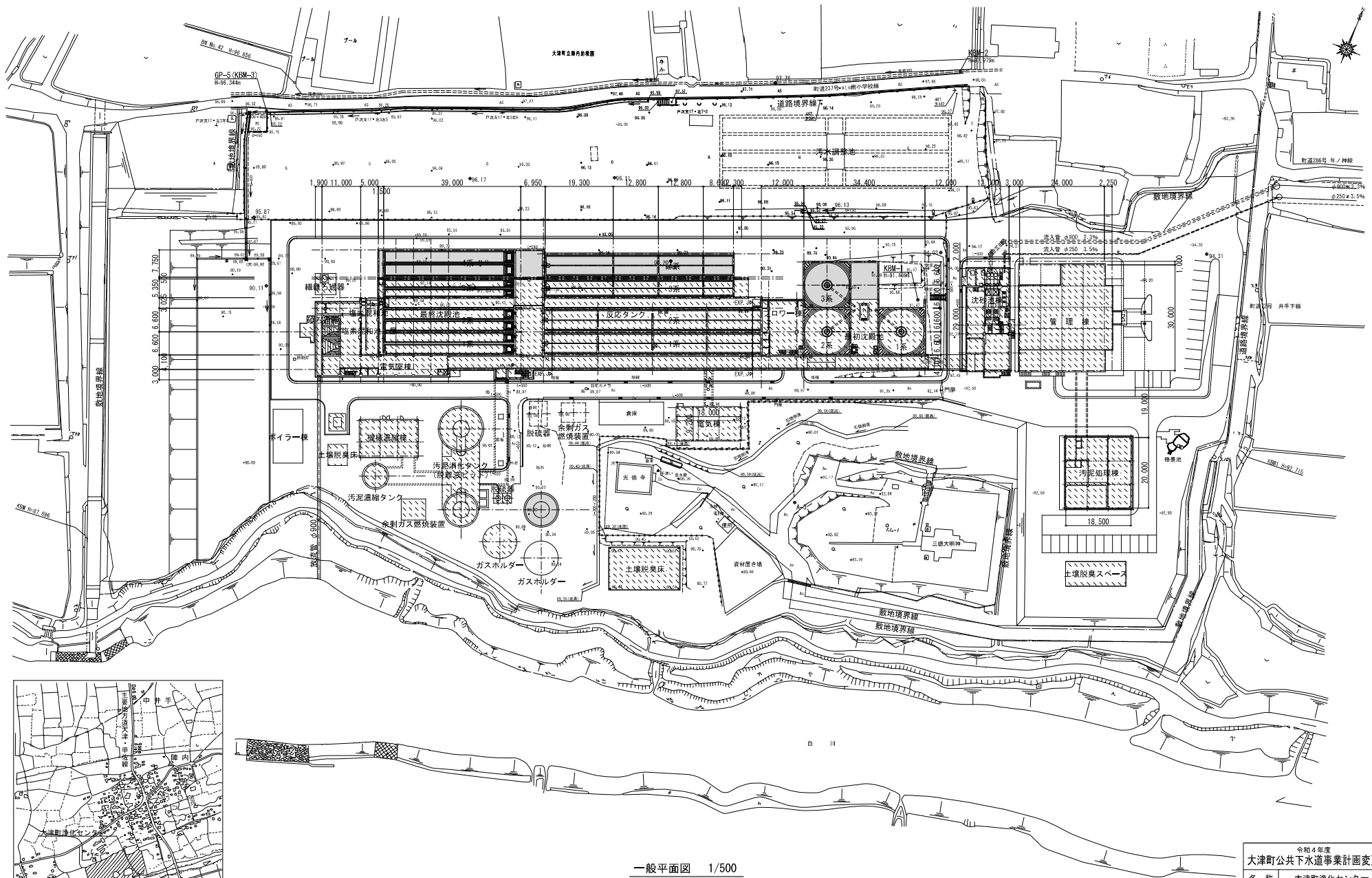
(第6表)

ポ ン プ 施 設 調 書						
ポンプ施設の名称	処理区の名称	ポンプ施設の 位 置	敷地面積 (単位ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位 立方メートル)		摘 要
				晴 天 時 最 大	雨 天 時 最 大	
室 汚 水 中継ポンプ場	大津処理区	大津町大字室 字東迫尻	0.03	1.34 1.85	—	
引 水 汚 水 中継ポンプ場	大津処理区	大津町大字引水 字東鶴	0.01	0.94 1.08	—	
ポ ン プ 施 設 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設						
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘 要	
室 汚 水 中継ポンプ場	ポンプ井	1 式	鉄筋コンクリート造			
	ポンプ	2 3 台	水中汚水ポンプ	約1.62m ³ /分・台		
	上 屋	1 棟	鉄筋コンクリート造			
引 水 汚 水 中継ポンプ場	ポンプ井	1 式	鉄筋コンクリート造			
	ポンプ	2 3 台	水中汚水ポンプ	約0.9m ³ /分・台		
	上 屋	1 棟	鉄筋コンクリート造			

1 - 2 - 2 事業計画概要

項 目		全 体 計 画		事 業 計 画		
		前 回	今 回	前 回	今 回	
下水道計画目標年次		令和17年度	令和22年度	令和6年度	令和10年度	
排 除 方 式		分 流 式	同 左	分 流 式	同 左	
計画処理面積 (ha)		(汚水) 1,084.0 (雨水) 770.0	同 左	(汚水) 946.0 (雨水) 212.0	(汚水) 981.0 (雨水) 212.0	
行政区域内人口 (人)		37,000	40,000	35,900	37,400	
計画処理人口 (人)		32,400	35,700	30,540	32,600	
生活系汚水量 原単位(L/人・日) (地下水を含む)	日 平 均	300	325	300	325	
	日 最 大	365	390	365	390	
	時間最大	530	575	530	575	
計 画 汚 水 量	生活系 (m³/日)	日 平 均	9,720	11,610	9,160	10,590
		日 最 大	11,820	13,930	11,150	12,720
		時間最大	17,170	20,530	16,180	18,740
	工 場 (m³/日)	日 平 均	5,280	5,220	4,480	4,420
		日 最 大	5,280	5,220	4,480	4,420
		時間最大	7,160	7,000	5,560	5,400
	その他 (m³/日)	日 平 均	190	120	190	120
		日 最 大	230	140	230	140
		時間最大	370	230	370	230
	合計 (m³/日)	日 平 均	15,190 (採用値 15,200)	16,950 (採用値 17,000)	13,830 (採用値 13,900)	15,130 (採用値 15,200)
		日 最 大	17,330 (採用値 17,400)	19,290 (採用値 19,300)	15,860 (採用値 15,900)	17,280 (採用値 17,300)
		時間最大	24,700 (採用値 24,700)	27,760 (採用値 27,800)	22,110 (採用値 22,200)	24,370 (採用値 24,400)
大津町 浄化センター	処理方式	標準活性汚泥法 ＋砂ろ過	標準活性汚泥法 ＋砂ろ過	標準活性汚泥法 ＋急速ろ過	標準活性汚泥法 ＋急速ろ過	
	処理能力	18,000m³/日 (3系列)	19,300m³/日 (4系列)	18,000m³/日 (3系列)	19,300m³/日 (4系列)	
	敷地面積	約 4.32 ha	同 左	約 4.32 ha	同 左	
	流入水質 (mg/L)	BOD 200 S S 140 COD 90 T-N 35 T-P 4.0	BOD 190 S S 140 COD 90 T-N 35 T-P 4.0	BOD 200 S S 140 COD 90 T-N 35 T-P 4.0	BOD 190 S S 140 COD 90 T-N 35 T-P 4.0	
		放流水質 (mg/L)	BOD 10 S S 6 COD 12.2 T-N 12.7 T-P 1.2	BOD 10 S S 6 COD 12.2 T-N 12.7 T-P 1.2	BOD 10 S S 6 — — —	BOD 10 S S 6 — — —
			放 流 先	一級河川 白川	同 左	一級河川 白川

項 目		全 体 計 画		事 業 計 画	
		前 回	今 回	前 回	今 回
汚水中継 ポンプ場	室 中 継 ポンプ場	1.62 m ³ /分 A=約345m ²	2.00 m ³ /分 同 左	1.34m ³ /分 A=約345m ²	1.85 m ³ /分 同 左
	引水中継 ポンプ場	0.99 m ³ /分 A=約100m ²	1.17 m ³ /分 同 左	0.94m ³ /分 A=約100m ²	1.08 m ³ /分 同 左
雨 水 計 画	雨 水 流 出 公 式	合 理 式			
	降 雨 強 度 公 式	I=5,680/(t+40) mm/時			
	確 率 年	5 年			
	流 出 係 数	計画区域0.45～0.60、区域外流入区域0.20～0.40			



附近見取図 1/10,000

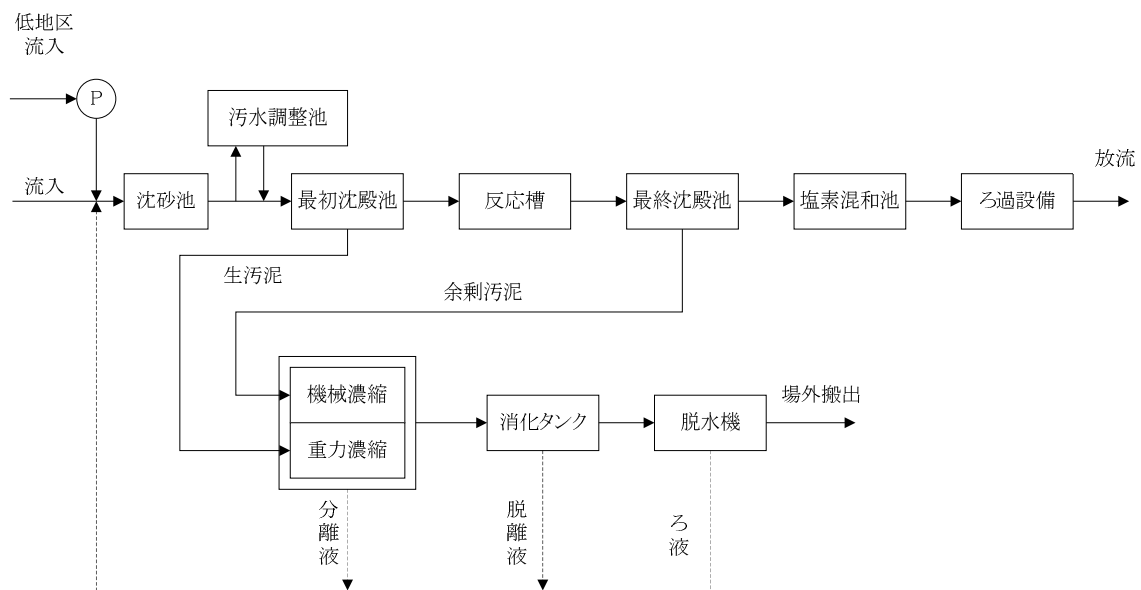
一般平面図 1/500

- 〰 部は既設を示す。
 ■ 部は事業計画追加を示す。

令和4年度 大津町公共下水道事業計画変更	
名 称	大津町浄化センター
所在地	大津町大字陣内字年の神
一般平面図	縮 1/500
附近見取図	尺 1/10,000
図面 19 葉中第 6 号 大津町	

(3) フローシート

【事業計画＝全体計画】



汚泥処理フロー図（令和6年度実績）

都道府県名 熊本県
市町村名等 大津町
処理場名 大津町浄化センター

